

時事新報

第千二百五十一號

明治十九年四月十六日
舊丙戌三月十三日

1

滿潮午後三時四十七分

時事新報定價

三國十二錢〇	左三指タクル各地玉於テハ該地賣物所ヨリ送達無料ニテ配達 或候(但本社ヨリ直接運送スルモノハ此限ニアラズ)
甲京、 山、 輪、 名古屋、 松川、 松、 草加、 越谷、 金、 市川、 八幡、 船橋、 其仙台近傍配達便宜ノ圖所ハ同レク鑑説料不申受候	京、 尾、 山、 原、 岡山、 廣島、 馬鹿、 高麗、 下ノ郡良、 伊豆、 福島、 二本 松、 石ノ井、 白石、 田舎、 青森、 弘前、 宇都宮、 高崎、 鹿沼、 八王子、 千住、 久喜、 關宿、 千葉、 到平、 寒川、 佐倉、 東
時事新報廣告料(前金)	一行ニ付
一 行 四 四 字 詞	一 日 限
一 行 三 十 行	六 日 迄
錢 八	十五 日 迄
錢 七	十六 日 以上
錢 二	十七 日 以上
錢 一	十八 日 以上
錢 八	十九 日 以上
錢 一	二十 日 以上
自 行	二十一 日 以上

時事新報

米國は鉄道競争と利用すべし
米國との貿易は其地理物産等

望少あからず此間の貿易に從事する日本商は耳目と頗る敏にして米國の商況と観察玄物價の昇降、物品の多寡は申そ迄もなく時々の流行新發明等より商賣上一時偶然の出来事に至るので委細れ事情を承知して賣買上ふ抜目なきを期すると最も肝要なり然るに今日の處にては日本商人の怠慢と云はんか將より無智と云はんり自家の取引先ある米國の事情に注意するもの少く例へば米國の人がシヤツ、カラ、カツフ、帽子襟巻等と日本本人より賣り附くるる米國にては既ふ時好む後し一山百

鉄道の競争に因て偶然より荷物運送の便と得たれを賣物或は鎧詰類の物品を東送するもの甚だ多しとの事あり因て思ふに從來日本の貨物にて桑港の市場までには達し得るも運賃に辟易して更らに進んで米國の東部に達すること能はざるもの多からん然るに今幸にして鉄道の競争に際しすれば運賃の壓迫頗に減じて貨物の諸方に飛散するには大なる便利を加へたり日米間の貿易家と決して此横を空うと可らざるなり蓋し米國鉄道の競争は今日に始まりしに非ず從來の例と接せる又此競争を制するものと固より政府の力に非ず兩虎鬭能んで夫れゝの協議と遂ぐるか或と互々合併するか事の結局は大抵此邊に歸るものなれば競争の時間甚だ永く其間宿主の得意は言ふ可らず時に今度の競争に關係する鉄道會社はノルスルン鉄道會社、中央鉄道會社等孰れも米國金満家に維持に依るものなれば其精靈きり届そるに至るまでは幾多の日月を費すとなづん我輩は此競争の時間に於て我貿易商が活潑ふ其餘澤よ露ふる工風あらんと渴望するものあり

井上角五郎
朝鮮日誌 第十一
三月十四日より十六日至るは間總て晴天なり十四
この日余の船よりの凶信に接せり即ち一昨日仁川
入港せし郵船會社汽船美濃丸は齋らせし郵信にて余
老母郷にて病死したる由を知れり依く本日より喪
服し官局の出入を謝そ

十五日釜山郵船會社支配人大橋淡氏今回美濃丸の便
て京城に來る同社にてハ今度神戸、長崎、釜山、仁川
間と三周間毎に一度航海又長崎、仁川、芝罘、天津、
間も同じく三周間毎ふ一度航海をす事と定め且つ
川にハ庫船一艘を備へ置く筈にて今度美濃丸にて曳
れりといふ大橋氏の入京も蓋々此等の用事より關する
らん聞く所によれば司氏は賣手ノ貢米軍送方と請

賀あ來仁ののに とがに日 てり往此ゑて器 銅

名に案繁道共の事の権第のけんりゅうははなな人府の今日効能ははね代院學問の衡の來の色の

試験問題の代りに對する成績を算出する。

者のもとよりとて、不懶惰の試験結果を宣言するに及ぶる。

試験の結果、八人のうち七人が合格した。このうち、五人は「良」の評定を受けた。

(錢三金價定) (列休日曜日)

○朝鮮日誌 第十一
三月十四日より十六日に至るは間總て晴天なり十四
この日余り鄉里よりの凶信に接せり即ち一昨日仁川
入港せし郵船會社汽船美濃丸は齋らせし郵信にて余
老母郷里にて病死したる由と知れり依く本日より喪
服し官局の出入を謝そ

十五日釜山郵船會社支配人大橋淡氏今回美濃丸の便
て京城に來る同社にてハ今度神戸、長崎、釜山、仁川
間と三周間毎に一度航海又長崎、仁川、芝罘、天津、
間も同じく三周間毎に一度航海とす事と定め且つ
川にハ庫船一艘と備へ置く筈にて今度美濃丸にて曳
れりといふ大橋氏の入京も蓋此等の用事よりする
らん聞く所によれば同氏は慶尚道の貢米運送方と請
ひたる由なり

十七日雨ふる、十八日より二十五日まで晴天、數日前
川よて日本の人足と朝鮮の人足と互に黨を結びて喧
及び兩三名の怪我人たりたるが事平和に治りたり
城内ハ近日米の輸入稻や多く相場は左程下落せされ
も人民は大ふ安堵の色ありといふ當地舊西亞公使館
餘程宏大あるよしにて今春より日本の職工凡二百人
使用玄夏冬とも休業せず三年にして竣工する見込ある
いふ當地此頃の氣候は華氏五十度より六十度の間
あり朝夕は四十度に下る事あり日中は時により六十
以上日の半
(以下次號)

○代直人再試験見合の建議 本月六日大阪組合代
會議よて小島忠里、岡崎高厚、北村左吉の三氏外十
名より提出したる代理人再試験の是非は暫く措此の
建議は當議會よて議をべきもれにあらず之と議
建議するに議案と討議したるに砂川謙雄、溢川忠次郎
竹中鶴次郎等の諸氏は再試験の是非を主張し甲
乙駁容易よ果てざりしが決を取るに及んで四名に對
る七名の多數を以て建議案に可決し文案の起草等は

は政治的立場の上に、その道地を共に歩むべきである。この立場は、たゞ日本政府の立場であつて、國民の立場ではない。國民の立場は、たゞ政治的立場の上に、その道地を共に歩むべきである。

者のかつての事務所は、現在は、本店の事務所に改められ、その跡地には、新規の事務所が建設され、その名前は「新規事務所」といふ。この新規事務所は、以前の事務所よりも、広く、高くて、豪華で、設備も充実している。また、新規事務所の前には、大きな駐車場があり、車を停めるのに困らない。この新規事務所は、以前の事務所よりも、広く、高くて、豪華で、設備も充実している。また、新規事務所の前には、大きな駐車場があり、車を停めるのに困らない。

試験問題は、主として、法律の知識と、問題解決の能力を評価するためのものである。問題は、論述問題と、選択問題とに大別される。論述問題は、問題文に記載された事実や問題の背景に基づいて、問題文に記載された問題を解決するための手順や考え方を述べる問題である。選択問題は、問題文に記載された事実や問題の背景に基づいて、問題文に記載された問題を解決するための手順や考え方を述べる問題である。